

ロボティクスの新時代を設計する

不二越は、製造現場における人と機械の協働作業のあり方を変革する

未来の工場は、孤立した機械で満たされることはなく、むしろ、知能を備えたロボットが、人々と共に動き、考え、働くようデザインされるでしょう。これまでのロボットの導入における大きな障壁の一つは安全性でした。高速で動作するロボットは、特に重く大きな物体を扱う能力を持つ場合、人間や他のロボットと接触する危険性があります。不二越は、人のために働くだけでなく、人と並んで安全に働くことができるようデザインされた、新世代の自律型協働ロボットによってその課題の克服を目指しています。

1928年に切削工具メーカーとして設立された不二越は、高い要求に対応できる油圧機器、工作機械、ベアリングの主要サプライヤーへと成長しました。100周年を目前に控えた現在、同社は将来の事業の重要な柱としてロボット事業にさらに注力し、次世代の製造業を支援することを目指しています。不二越の未来的なショールームでは、ロボットたちが複雑な作業をシームレスに協調しながら実行しています。仕分け作業から精密な組立作業に至るまで、互いに衝突を回避しながら作業を遂行しています。

自社開発の高度なマシンビジョンシステムのおかげで、「COPARO (Collaborative Partner Robot)」シリーズとして開発された不二越の最新ロボットは、協働作業に最適です。「現在の需要は小型ロボットによって牽引されており、特に電機・電子分野で顕著です。例えば、当社はスマートフォン生産ライン向けに小型ロボットを供給しており、市場シェアを着実に拡大しています。従来型のロボットと比較して、これらのモデルは高い速度と精度を維持しながら、安全性を大幅に向上させています。」と、不二越社長の中村氏は語ります。

最近同社のトップに就任した中村氏は、それ以前は不二越のロボット事業の責任者を務めていました。よりスマートで自律化された製品への事業転換を進める同社において、中村氏はその転換を率いるのに最適な立場にいます。「当社のロボット事業の成長戦略の中心にあるのはフィジカルAIです。私たちは、人間のように自律的に考え、幅広い課題に柔軟に対応し、問題を効果的に解決できるロボットの開発を目指しています。これらの先進的なロボットを世界中で販売することで、グローバル市場における当社の存在感をさらに強化したいと考えています。」

長期的な戦略に基づいた事業拡大を通じて、今日の不二越は真のグローバル企業となり、生産ネットワークは北米、欧州、アジアに広がっています。将来志向のロボティクス企業への変革を成功させるため、不二越は各地域での最高のグローバル人材の採用に重点

を置くとともに、既存の従業員に対しても最新のA I ツールを活用して能力強化を図っています。「A I 人材をさらに育成するための継続的な教育プログラムに加え、大学やスタートアップ企業との開発活動も強化しています。」とも中村氏は語りました。